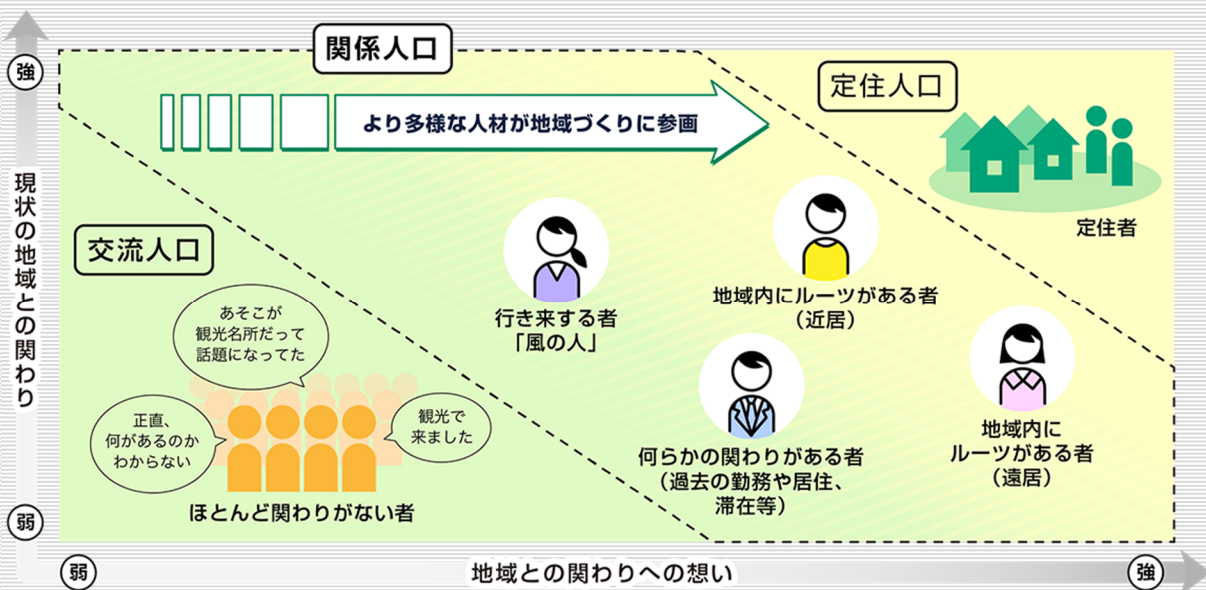


5. 関係人口創出の取組

我が国全体の人口減少が進む中で、地域の活力を創出・維持するためには、定住人口だけでなく、居住しないものの何らかのつながりを持つ「関係人口」を増やす取組が求められています。

本計画では、先述の9つの方向性に基づく取組を進めていくことで、単なる交流にとどまらない、まちづくりに主体的に関わる「関係人口」の創出に取り組みます。また、国における「地方創生 2.0 総合戦略」の動きを注視し、計画期間中においても時流を捉えた関係人口創出の取組を進めていきます。



(出典：総務省「二地域居住・関係人口ポータルサイト」)

6. デジタルを活用した取組

デジタル技術を活用した取組として、各戦略に位置付けているものは下記の通りです。今後も、これらを推進するとともに、新たな技術の調査・研究を行い、導入を図っていきます。

方向性	施策	内容
方向性1 交通・住環境	電子地域通貨の活用	地域内の加盟店舗・観光施設・自治体サービス等で使用できる地域通貨ポイントにより、地域内消費額の増加、加盟店舗数の拡大、関係人口の増加を図る。
方向性2 子育て支援	子育て情報の発信	ホームページやSNS等を活用し、子育てが楽しくなるような情報や健診等子育てに関する情報発信を行い、子育て支援を図る。
方向性5 教育・子育て	ICT教育(情報化教育推進事業)	ICT環境を最大限活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる。児童・生徒自らが、目的や場面に合わせてICTを使い分けて効果的に活用し、課題を発見・解決する力の育成を図る。
方向性6 生涯学習	図書館でのネットによる蔵書検索と図書の貸出予約	インターネットによる資料検索画面から図書館所蔵の図書を検索後、貸出予約ができるようにすることで、利用者の利便性を高める。
方向性9 稼げる産業	ICTを活用した鳥獣害対策	遠隔監視・操作による省力化、データ分析による効果的な罠設置、迅速な捕獲と情報共有を行う。
	森林管理(森林クラウドサービス)	市町村が管理する林地台帳をリアルタイムに更新することにより、林業事業者が必要とする情報を効率的に提供する。
	遊休農地・荒廃農地(耕作放棄地)調査	遊休農地等の調査にタブレット端末を活用し、位置情報や土地情報を整理・集約化することにより、農業者等が必要とする情報を効率的に提供する。